

— 2025年度耐震強化工事の完了を踏まえて —
旧真田山陸軍墓地
納骨堂を未来に生かす道を考える

2026年 **3月29日(日)** 13:30 ~ 17:00 開場 13:00

会場 旧真田山陸軍墓地内集会所 **定員** 30名 (当日先着順)
(大阪市天王寺区玉造本町 14-83)

最寄り駅 JR大阪環状線「玉造」駅 徒歩 約5分
Osaka Metro「玉造」駅 徒歩 約3分

参加費 500円 (院生・学生 100円)

建築史が専門の
川島智生氏を招き
世界の戦死者慰霊施設
と比較しながら
納骨堂の再検討を
行います

講演1 川島智生氏 (神戸情報大学院大学客員教授)
「真田山陸軍墓地「忠霊堂」と世界の慰霊施設」

講演2 小田康徳氏 (本会理事長)
「納骨堂調査をまとめ、文化財として生かす道を考える」

【開催趣旨】

大阪市天王寺区に広がる旧真田山陸軍墓地とそこに立つ「納骨堂」は、近代日本が創成し、展開してきた軍事と戦争の姿を作られた当時の形のまま今日に伝える貴重な歴史遺跡であり、史跡指定に値する価値を持っています。今回、国は費用を投じて納骨堂の耐震強化工事を実現しました。保存に向けて大きな一歩が築かれたものです。講座では、この施設の歴史的意味を明らかにし、その存在を未来に生かす道を検討したいと考えます。



旧真田山陸軍墓地 納骨堂

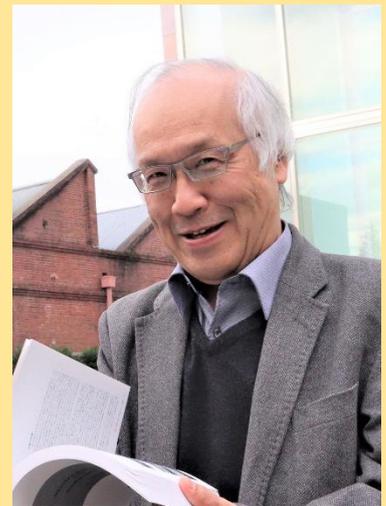
プログラム

- 13:30 開会挨拶
- 13:40 見学 納骨堂の見学
- 14:10 講演1 川島 智生 氏 (神戸情報大学院大学客員教授・博士(学術)・一級建築士)
「真田山陸軍墓地「忠霊堂」と世界の慰霊施設」
- 15:10 講演2 小田 康徳 氏 (本会理事長・大阪電気通信大学名誉教授)
「納骨堂調査をまとめ、文化財として生かす道を考える」
- 16:10 質疑と討論
- 17:00 終了

* 内容等は都合により変更する場合があります

川島智生氏より“ひとつ” 世界史に見る戦死者慰霊施設

真田山陸軍墓地内の忠霊堂（1943）を満州やフランスの納骨堂と比較して、その意味を考える。ここでの忠霊堂とは納骨堂である。その建築類型は仏寺に原形をみることができるし、仏寺以外にキリスト教会でも見出せる。近代以降は大災害や戦争などで多くの人が同一の場所で非業の死を迎えた際に建設される。第一次世界大戦で戦死した13万人の無名戦士の遺骨をおさめたフランスのドゥオーモン納骨堂（1932）はよく知られる。日本の陸軍により満州各地に建設された忠霊塔は納骨堂であると同時に、大陸支配というプロパガンダを目的とした記念建造物であった。



会場 旧真田山陸軍墓地内集会所（大阪市天王寺区玉造本町 14-83）
アクセス JR大阪環状線「玉造」駅 徒歩 約5分
Osaka Metro「玉造」駅 徒歩 約3分

